

田川市石炭・歴史博物館のご案内

(令和2年度・上半期)

令和2年度 田川市石炭・歴史博物館 山本作兵衛コレクション企画展

1964 —そのとき田川は

前回の東京オリンピック・パラリンピックの開催は1964年。この年、田川市では三井田川鉱業所が閉山を迎える一方で、作兵衛翁が水彩で炭坑記録画を描き始めます。当時の関連資料とともに1964年をふり返ります。

期間◆令和2年7月26日(日)まで

※新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご協力をお願いします。
※5/24までは炭坑記録画原画約30点を、以降は原画2点と複製画を展示します。

会場◆田川市石炭・歴史博物館 第2展示室ほか



「1964」

企画展のキーワードは「1964」。1964(昭和39)年は、アジアで初のオリンピック・パラリンピックが東京で開催される1年で、筑豊炭田最大級の炭鉱だった三井田川鉱業所が閉山し、所在地の田川市に大きな影を落とした年でもありました。光と影が交錯するこの年、後にユネスコ「世界の記憶」となった炭坑記録画の水彩画の制作に山本作兵衛翁が着手したのも、1964年でした。



▲1964年に閉山した三井田川鉱業所の遺構

◆博物館スタッフのおすすめ◆ Vol.4

今回は西田川高校(田川市)にある校歌歌碑についてご紹介します！

西田川高校校歌は作曲家の古関裕而さん(1909~1989)が作曲しました。この古関裕而さんはNHKの朝ドラ「エール」の主人公“古山裕一”のモデルとなった作曲家です。生涯5,000曲近くの作品を生みだし、東京オリンピックの選手入場行進曲「オリンピック・マーチ」も彼が手がけた作品です。その他全国各地の学校校歌や応援歌なども手がけており、その中の1つが西田川高校の校歌です！

作詞を担当している小説家の火野葦平さん(1906~1960)は、『麦と兵隊』『土と兵隊』『花と兵隊』『河豚』『五平太船』などの作品で有名です。

著名な2人によって制作された西田川高校の校歌ですが、その校歌が刻まれた歌碑は、なんと歌手の井上陽水さん(西田川高校,1967年3月卒)からの寄贈品です！

古関裕而さんについての展示は、博物館入り口を入ってすぐ右手のミニ展示コーナーにてご紹介しています。ぜひご覧ください！なお、西田川高校敷地内への無断立入は御遠慮下さい。



▲西田川高校 校歌歌碑

いのうえようすい



田川市石炭・歴史博物館 〒825-0002 福岡県田川市大字伊田2734番地1(石炭記念公園内)

◆TEL/FAX:0947-44-5745 ◆入館料:一般400(280)円、高校生100(70)円、小中学生50(30)円 ※ () は20人以上の団体料金
◆見学時間 9:30~17:30(入館は17:00まで) ◆休館日 毎週月曜日(月曜日が休日の場合は火曜日。火曜日以降も休日が続く場合は連休の終了日の翌日)

田川市石炭・歴史博物館 検索

令和元年度の活動報告

※令和2年度の事業については、決まり次第ホームページ等でお知らせ致します。



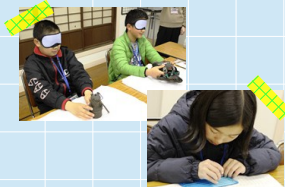
教育普及

子ども学芸員

子ども学芸員を目指し、市内の小学生を対象としたワークショップを開催しました。



世界の博物館について知ろう



ユニバーサルミュージアムってなんだろう？



博物館で自分のお気に入りの見つけよう



煙突とやぐらと炭坑節を深く学ぼう



お気に入りの博物館について調べてみよう



石炭記念公園マップをつくらう

夏休みkidsイベント 2019

夏休み期間中に4回、主に小中学生を対象としたワークショップを実施しました。



勾玉づくり

人形浄瑠璃体験



石炭 in キャンドル

モバイル



馬形はにわづくり



文化財保護

上の原遺跡(5次)の発掘調査

金川小学校周辺の道路新設に伴う発掘調査を行い、弥生時代の住居跡や墓跡と奈良～平安時代の溝跡を確認しました。

上の原遺跡(5次)発掘調査の様子▶



史跡筑豊炭田遺跡群保存活用計画 策定！

平成30年10月15日に筑豊炭田遺跡群として国指定史跡となった三井田川鉱業所伊田坑跡。地域資源として活用しつつ、市のたからとして次の世代へ残していくための適切な保存ができるよう、「史跡筑豊炭田遺産群保存活用計画－三井田川鉱業所伊田坑跡編」を策定しました。

三井田川鉱業所伊田坑跡▶

